



情報への道しるべ (レポート作成時の情報探索ガイドとして活用してください。)

日本論の系譜

(国際言語文化研究科言語文化学方法論)

日本論・日本人論は、常に日本人の異国体験、異国人との遭遇体験と比較して考えることから始まる。

キーワードを考えよう

(例)

日本、国家、国家論、社会、経済、文化、歴史 日本人 など

- 事典などの説明を参考に考えましょう。
- 考えたキーワードで、以降の図書・雑誌などを探していきましょう。

用語を確認しよう

- 手始めに事典をひくと、ものごとの概略が分かり、その後の調査が効率よく進みます。

(例)

資料情報	請求記号	配架場所
世界大百科事典・平凡社、2005年 改訂版	031 Se	中央2階参考 情報・言語 他
日本大百科全書(ニッポニカ)・小学館	031 N	電子ブック 中央2階参考
Encyclopedia of Japan・講談社		電子ブック

[Japan Knowledge](#) 「日本大百科全書」
「Encyclopedia of Japan」等をオンラインで検索できます。(学内限定)

[オンライン学術用語集](#) 標準的な学術用語はオンラインで確認できます。

図書を探そう

図書はNDC(日本十進分類法)の順に並んでいます。直接、図書館の棚に行って探す場合は、関連する分類番号も見てください。

分類番号	分野
121	日本思想
210	日本史
281	伝記・日本
302.1	政治・経済・社会・文化事情 (日本の)
361.5	文化・文化社会学
382.1	日本各地の風俗・習慣
910	日本文学

- 日本がテーマですが、社会、経済、文化、歴史等様々な側面からのアクセスによる多くの図書を探すことができます。

- 附属図書館の[利用案内](#)を見れば、[分類表](#)や[中央図書館の資料配置](#)が分かります。

[OPAC](#)で調べる

オンライン目録([OPAC](#))を使って、名古屋大学の蔵書を調べることができます。

- 調べ方がわからない時は、[ガイドシートリスト](#)(OPACやデータベースの使い方)もあります。

国内で刊行されている図書を探す

[Webcat Plus](#)

全国の1,000以上の大学図書館等が所蔵する図書や、新刊書の情報を、内容・目次データから検索できます。

また関連ワードが表示されるので、検索しながらキーワードを検討できます。

[NDL-OPAC](#)

国立国会図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースです。

- 名古屋大学で所蔵していない図書は、取り寄せて借りることもできます。

[所属別申込先一覧](#)をご覧ください。

「日本論」についての参考図書も見てみよう。

資料情報	請求記号	配架場所
文献目録日本論・日本人論の50年：1945-1995 / 日外アソシエーツ編集部編 紀伊国屋書店，1996	361.42 N	中央2階参考
文献目録日本論・日本人論(1996-2006) / 日外アソシエーツ編集部編 紀伊国屋書店，2007	361.42 N	中央2階参考
外国新聞にみる日本：国際ニュース事典 / 東京：毎日コミュニケーションズ，1989.9-1993.9	210.6 G	中央2階参考

入門・概説的な図書に掲載されている参考文献(引用文献)から関連資料を探すのもよい方法です。(例)

資料情報	請求記号	配架場所
外国人による日本論の名著 - ゴンチャロフからパンゲまで / 佐伯彰一・芳賀徹(編). 中央公論社, 1987	210 Sa	中央3階学習 情報・言語
日本文化論の系譜: 『武士道』から『「甘え」の構造』まで / 大久保喬樹. 中央公論新社, 2003	361.5 0	中央3階学習 情報・言語
「日本文化論」の変容: 戦後日本の文化とアイデンティティ / 青木保著. 中央公論社, 1990	361.5 A 361.6 A	情報・言語 国際開発 中央3階1階 保体, 経済

雑誌記事を探そう

[CiNii](#), [MAGAZINEPLUS](#) (学内限定), [NDL-OPAC](#) (雑誌記事索引)

国内雑誌の記事を探することができます。掲載雑誌がわかったら、オンライン目録([OPAC](#))を使って、名古屋大学が所蔵しているかどうか調べてください。CiNiiの検索結果ではそのまま本文を読むことができるものもあります。

- ▶ 名古屋大学で所蔵していない場合は、コピーを取り寄せることもできます。
[所属別申込先一覧](#)をご覧ください。
- ▶ 調べ方がわからない時は、ホームページ「[論文を探す](#)」を見てください。
- ▶ 読みたい記事が載っている専門雑誌が見つかったら、通覧してみるのもひとつの方法です。

(例)

資料情報	配架場所
日本研究 (国際日本文化 研究センター)	中央雑 (1989-2006) 1-9, 21-33+ 情報・言語 (1989-2006) 1-13, 15-17, 20-27, 29-33+

- ▶ 雑誌は分類順ではなく、雑誌名の順番に並んでいます。また所蔵館があっても、必ずしも全巻を持っているとは限らないので注意が必要です。

新聞記事を探してみよう

新聞のオンライン検索で、ニュースや解説記事を見つけられる場合もあります。

[閩蔵 II ビジュアル](#) (学内限定)

朝日新聞のオンライン記事データベースです。1945年以降の記事約700万件を、検索・表示でき

ます。

[中日新聞・東京新聞記事データベース](#) (学内限定)
[日経テレコン 21](#) (学内限定)
[ProQuest Newspapers](#) (学内限定)
[LexisNexis Academic](#) (学内限定)

インターネットで情報を探してみよう

国立公文書館サイト(国立公文書館)

<http://www.archives.go.jp/>

国立公文書館は明治政府が江戸幕府から引き継いだ日本や中国の古書・古文書、明治政府が集めた国内外の出版物を所蔵している。また明治以来の歴史的重要価値のある公文書等も所蔵している。

戦後日本政治・国際関係データベース(データベース「世界と日本」)(東京大学東洋文化研究所)
<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~worldjpn/documents/index.html>

戦後日本の国際関係における重要文書や演説を公開している。

国際日本文化センター

<http://www.nichibun.ac.jp/>

国際的・学際的・総合的な観点から日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究を行なっている。

ライシャワー日本研究所(ハーバード大学内)

<http://www.fas.harvard.edu/~rijs/>

日本に関する研究を支援し、学術活動および知的交流を行う場を提供している。日本並びに日本研究への学術的・一般的な関心をハーバード大学、更に世界中で高めることを目的としている。

EASJ(European Association for Japanese Studies)

http://www.eajs.org/japanese/publ_journals.html

地理的にヨーロッパに属するあらゆる国における日本研究分野の学術研究を奨励、振興することを目的としている。

- ▶ [Academic Resource Cabinet\(リンク集\)](#)も参考にしてください。
- ▶ インターネットの情報は誰でも発信が可能なかわりに、必ずしも正確だとは限りません。得られた情報は複数の情報源で確認し、裏づけをとることが重要です。また検索エンジンを使う時は、それぞれの特徴を調べて効果的に使いましょう。
代表的検索エンジン [Google](#) [Yahoo](#)

この「[情報への道しるべ](#)」についてのご意見・ご質問は、附属図書館参考調査掛までご連絡下さい。

17-Aug-07